

# MegaFile : 大容量ファイルのバックアップとリストアを高速化

ダウンタイムを短縮し、重要なビジネスSLAを達成

Cohesityは高性能なソリューションであり、たとえマルチテラバイトの大容量ファイルであっても、バックアップとリストアをすばやく実行します。

MegaFileはCohesityのアーキテクチャを構成する独自のコンポーネントであり、大容量ファイルの高速でのバックアップとリカバリを可能にし、災害復旧時のバックアップ時間とダウンタイムの短縮を支援します。

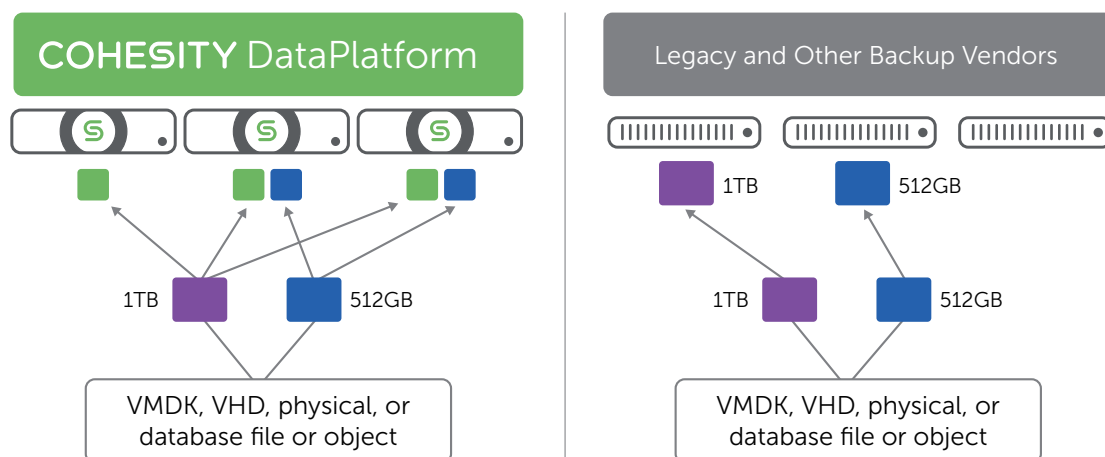
## 差別化されたパラレルストリーミング

MegaFileは、複数のノードにおけるデータストリーミングのための差別化されたアプローチであり、特許出願中の技術を用いて実装されています。MegaFileは、クラスタ内の全てのノードにインテリジェントにファイルを分散します。Cohesity SpanFS®の特徴の1つとして、MegaFileは大容量ファイルを小さなチャンクに分割し、全てのノードにおけるバックアップとリカバリの並行実行を可能にします。これらのチャンクの最小サイズは、パフォーマンスを最大限引き出すのに最適なものとなっています。

他のベンダーと違い、Cohesityはデータを動的に分割・分散することで、大容量ファイルを小さなチャンクに分けて、クラスタ全体にストリームすることを可能にします。

## 主なメリット：

- 高度なパフォーマンスでマルチテラバイトの大容量ファイルのバックアップとリストアに対応
- ディザスタやランサムウェア攻撃からの復旧時のダウンタイムを短縮
- VMware、Hyper-V、Linux、AIX、リレーショナルデータベースなど、多種多様なソースに適用可能



## バックアップとリカバリの大幅な高速化

たとえば、8ノードのクラスタに2TBのファイルをバックアップする場合、MegaFileは8つのセグメントを作成し、Cohesityクラスタ全体においてこれらのデータチャンクを並行して取り込みます。これによって、ファイルのバックアップ時間が1/6～1/8にまで短縮されます。クラスタにノードを追加すれば、パフォーマンスがさらに向上します。

このようなメリットはリストア処理にも当てはまります。MegaFileを使うことで、たとえマルチテラバイトの大容量ファイルであっても、リストアが大幅に高速化されます。これによってダウンタイムが短縮され、サービス水準合意 (SLA) の達成が容易になります。

CohesityのインテリジェントマルチノードストリーミングはVMDK、VHD、物理オブジェクト、データベースオブジェクトをサポートしており、VMware、Microsoft Hyper-V、Pure Storageのほか、主要なデータベースや物理サーバに適用可能です。

## サイズを問わずパフォーマンスが向上



### バックアップとリストアの時間を大幅に短縮

- ノードを追加することでバックアップとリカバリのパフォーマンスがさらに向上
- マルチテラバイトの仮想マシン (VM)、データベース、物理サーバの保護・リカバリのパフォーマンスが向上



### 多様なデータソースをサポート

- ブロックベースおよびファイルベースのデータをサポート
- VMware、Hyper-V、Linux、AIX、Pure Storage、SQL Serverをサポート
- MegaFileを使えば、マルチテラバイトの物理ファイルのバックアップが2.4倍高速に



### ワークフロー全体でパフォーマンスが向上

- フルバックアップと段階的なバックアップの両方に対応
- たとえ大容量のファイルであってもバックアップ時間が短縮されるため、ビジネスSLAの達成が容易に